



登下校にヘルメット着用（保原中）



校庭はいつも安



グループごとに化学の実験（郡山二中）

育相談活動において機能していくものであり、個人の充実とともに、集団における適応を図っていくという作用にほかなりません。
しかし、現実の児童生徒には勉強嫌い、進学上の悩み、怠学、家庭の問題など、さまざまな要因によって不適応現象をおこしているものも少なくありません。
だからこそ、教師の愛情につつまれた、きびしくも温かい指導が必要となってくるのです。
教師のこの自覚が、生徒指導の出発点であり、充実した指導を展開していく原動力となります。



グループ相談をする3年生（保原中）



体育をとおして生活